

Japanese Association of Trombonists
JAT NEWS

第 53 号

日本トロンボーン協会会報 2000.11 発行

事務局：〒112-0013 東京都文京区音羽 2-2-603 プロアルテムジケ内 tel. 03-3943-6677 fax. 03-3943-6659
郵便振込：日本トロンボーン協会事務局 東京 9-175867

第7回トロンボーンコンペティションレポート



10月29日(日)洗足学園大学 溝の口キャンパスにて第7回日本トロンボーンコンペティションが開催された。北海道から鹿児島まで各地域からトロンボーンの名手達が折からの雨の中33名が参加した。平均的なレベルが年々上がっている様で予選本選とも審査員は採点に苦勞を強いられたようだ。

本選の後オーストラリアから駆け付けたジャック＝モーシェ氏によるコンサート、受賞者の発表と授賞式が行われた。

受賞者への寸評

1位●中村弥生

A. レベテフ：コンチェルト

この人の美点は何と言っても空間を鳴らす技術でしょう。発音した瞬間にホール全体が鳴る、まるでどこかに隠しマイクが仕掛けてあってこっそりスピーカーで鳴らしているた。(萩谷克己)

2位●長柄有香

Y. デスポルト：トロンボーンのためのシャンソン

私が学生の頃(？十年前)白石画之氏(彼も学生だった)の音と演奏に皆感動したものだ。その数年後フィリップ＝ジョーンズプラスアンサンプルのトロンボーンセクションの音に驚き、またロナルド＝バロンの響きに圧倒された。今回長柄さんの音を聴き、同じような衝撃を受け

た。基本がしっかりした伸びのある響き、、、。良い先生に師事しているなと思った。長柄さんに聴くと萩谷先生との答えが帰ってきた。納得した。

(村上準一郎)

3位●松田善臣 F. ダヴィッド：コンチエルト

ダヴィッドのバストロンボーン版をここまで集中力高く演奏できるという意味において、又音の素質という意味において非常に高いレベルでした。コンクールでなくオーケストラのオーディションであったならもっと評価されたかもしれない？という印象をうけました。惜しいのは美しい響きがあり、ダヴィッド特有のリズムをきちんと演奏していたにも関わらず、3楽章全部を聴かせるためには最後の盛り上がりでドラマを作りきれなかったのではないかといい点です。(萩谷克己)

奨励賞

●片野坂 りさ F. モレル：ヘ短調の小品

美しい歌心が一番の美点です。ただ、本選で1次のような高い集中力を発揮する事、音色にはんの僅か感じるストレスを無くす事が今後の課題でしょう。(萩谷克己)

●植田智美 C. サン・サーンス：カヴァティーニ

広い音域、確実なテクニック、集中力等申し分ありません。この曲はトロンボーンの泣き所を美しい音楽にはめ込んだような曲ですが、それを正面から捉えて演奏した姿勢は高く評価できます。

特にトロンボーンの泣き所、B-mollのスケール、中間部の美しいフレーズの頂点がGis!!

ペダルトーンのAs、早いリップスラーをタンギングで逃げなかった姿勢、とどめはボレロ、センチと同じの最高音Des スケールの音程と音の扱いに課題が残るものの、このレベルの演奏はそう簡単に出来るものではない事を示してくれました。(萩谷克己)



寸評を述べるジャック・モージェ氏
(左は通訳の若狭和良氏)

授賞式の後モージェ氏にサインを
求めるコンペティション参加者



受賞者の感想

第7回日本トロンボーンコンペティション直後興奮覚めやらぬ受賞者に感想を求めた。

トロンボーンコンペティションを終えて

第一位 千葉県立一宮商業高等学校 中村弥生

私は今年初めてこのコンクールに参加しました。予選の時は深く緊張して音が震えてしまい、伴奏の方も合わせにくかったらしく『これはホントにマズイ』と思い、本選に出場するのはもう無理かも知れないと考えていました。

でも運良く(?)予選を通過し、安心できたので落ち着いて本選の舞台に臨むことができました。まさか一位を取れるとは思っていませんでした。

私よりも良いものを持っている他の人たちが入賞できなかったのがとても惜しいと思います。とにかく落ち着いて吹けば何でもできることを学びました。(笑)有り難うございました。



二位取っちゃった

第二位 富山県高岡市立芳野中学校 長柄有香

本当に本当にビックリしています。ま、ま、まさかの2位なんて、....。ジャック=モーゼさんにもサインをいただけで本当に夢のようです。

ステージでも多少の失敗はあったけれど、すごく『楽しむ』ことを一番に考えてやって来たのが大成功でした。みなさん、ほんとうにありがとうございました。



緊張を吹き飛ばしいい経験をしました

第三位 桐朋女子高等学校音楽科 松田善臣

イヤー、なんと言っても緊張しました。気が小さくなって『蚊』の様な音になるぞと思いました。自分の持っている音楽を精一杯出せれば...、と思うとそのとてつもない緊張も少しずつ溶けてきました。

3年生になってマウスピースを換えたのですが、なかなかそれが良いマウスピースで今一番気に入っています。今回吹いたダビットのコンチェルティーノもとても良い曲で吹いていてワクワクしてきます。すべてが気に入った良い状態で演奏できて良かったです。一生懸命にできたのでとても良い経験ができたと思います。

ありがとうございました。



事務局からのお願い

住所変更?

結婚・転勤・などなど

された方は事務局までお知らせ下さい

TEL 03-3943-6677

FAX 03-3943-6659

第4回トロンボーン懇親会に参加して

私は今回、静岡から仲間2人とともに参加させていただきましたが、本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。

私のような地方にいる人間にとって、いままでは色々なことに対し視野が狭かったと思いますが、トロンボーン協会の行事に参加させていただくようになってから、多くの方と出会い多くのことを勉強する良い機会をいただいたと思っています。雑誌や教則本でしかお目にかかれなような先生方も多くいらして、普段疑問に思っていることなどを質問できその質問に対し丁寧に教えていただけました。さらに、一緒にアンサンブルなどもできプロの演奏、音を間近に聴くことができ充実した時間を過ごすことができました。

色々な楽団で活躍されている人、音大生の人、高校生の人、中学生の人、幅広い年齢の方々が参加されておりいろいろな話も聞くことができました。

今回の懇親会では、みんながわきあいあいと和やかな雰囲気の中でトロンボーンについて語り、トロンボーンを吹くことができ時間があっという間に過ぎてしまうほど楽しい時間を過ごすことができました。このような素晴らしいイベントがあるということを知っていただき、さらにトロンボーンの仲間の輪が広がることを期待します。

最後に、懇親会の開催に当たりまして御苦労いただきました方々に心より感謝申し上げます。

亀井 敬広



懇親会感想

(メールで寄せられたもの)

きのうのトロンボーン懇親会お疲れさまでした。うちの団の宇津木も楽しい一時を過ごせたと感動しております。

多分会員になるでしょう。
またお会いできる日を楽しみにしております。

K.T

こんばんは。竹早高校 Tb の和田です。昨日はありがとうございました。

9/10、滝野川会館&駒込の飲み屋さんでお会いした新井と申します。

先日はお疲れさまでした。

トロンボーン協会の親睦会には初めて参加したのですが、とっても楽しかったので、今まで来たことがなかったことを大変後悔しました。またお知らせいただければ嬉しいです。

E.A.(^o^)/

昨日の懇親会は、本当に最高でした！！
トロンボーンだけのアンサンブルなんてめったにやらないので本当に新鮮な体験でした！！

今度、学校の後輩（同級生のやつはやってくんないんで…）と二重奏をやろうという話になりました！（多少強引ではありましたが…）今からとても楽しみです！！
by アキラ

こんばんは！
懇親会では、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

時間があればもっといたかったんですが、ご挨拶もなしに失礼しまして申し訳ありませんでした。また、東京に行きたいと思いますのでその時には、よろしくお願いします。ありがとうございました。

K.K

懇親会幹事ご苦労様でした。
下記 URL に先日の懇親会のアジカメ写真を掲載しましたので関係者にお伝え下さい。

<http://www.geocities.com/toyon2/00JTA/index1.html>
O.T

←左から亀井・千葉・萩谷・鈴木の各氏

↓全員合奏！



懇親会参加者氏名

★理事等

伊波 睦 郡 恭一郎 萩谷克巳 村上準一郎 村田厚生 細谷道生

★一般

鎌倉信子 (NTT 東日本東京吹奏楽団)

豊仲 修 (江戸川フィル)

夏見悟史 (大宮フィルハーモニー)

岩谷詠史 (牛どんレモン)

亀井敬広 (静岡県警音楽隊)

鈴木裕之 (静岡県警音楽隊)

千葉真紀子 (静岡県警音楽隊)

関水香代子 (私立向上高校吹奏学部)

増谷靖之 (新宿交響楽団)

中川茂樹 (ゼフィルス・W0)

大野順一 (ゼフィルス・W0、埼玉県吹連理事)

高橋圭一郎 (田園調布ウインドアンサンブル)

宇津木 朗 (田園調布ウインドアンサンブル)

水島祐介 (東京大学管弦楽団)

東山大助 (東京大学ブラスアカデミー)

速見剛 (東京大学ブラスアカデミー)

高安浩司 (都立杉並高校) 宮崎正太郎 (都立杉並高校)

和田佳代子 (都立竹早高校)

新井恵美 (トロンボナンザ)

中野祐司 (トロンボナンザ)

小向勝己 (中野区民交響楽団)

小松寿樹 (ビュッフェ・クランボン (株))

長島智宏 (ビュッフェ・クランボン (株))

轟木敬 (武蔵野音大)

金子郁男 (ヤマハ池袋吹奏楽団)

清田耕助 (立教池袋中学校吹奏学部)

今村和司 (新交響楽団・聖バレンタインブラス)

田平智洋 広瀬幸一 多湖和男 武内康夫

細川潤朗 他

ついに登場！ ロータリートランペットとドイツ管トロンボーンによる
純粹に音と音楽を追求するブラスアンサンブル

ブラス ミンストレルズ **BRASS MINSTRELS**

2001年2月23日 (金)

7:00P.M.~

三鷹市芸術文化センター

風のホール

入場料 3,000円 (全席自由)

Trumpet

坂井俊博

平林徹

本間千也

Trombone

竹田俊幸

村田秀文

村上準一郎



曲目 J.S.バッハ S.シャイト F.ヒダス ジョスカン=デ=ブレ etc.

お問い合わせ TEL&FAX 03-3484-8577 村上準一郎

e-mail thumbs-up@par.odn.ne.jp

独断と偏見のドイツ管入門 その2

東京佼成ウインドオーケストラ 萩谷克己

では皆さんドイツ管と呼ばれるものがいったい何であるかわかりましたか？わかりませぬ。前回の2番のドイツの伝統的なデザインというものを分析してみましょう。

外見上、一番目に付くのはベルの大きさと位置でしょう。ドイツ管と呼ばれる楽器のほとんどはベルのサイズが22cm近辺(8・3/4インチぐらい)で普通の楽器と1cmぐらい大きいのです。実際に手にとるとベルの位置が3-4cm手前があるのでびっくりします。慣れない人は必ず4、5ポジションのピッチが高くなります。これはポジションの位置をベルとの関係で目で見るとる人がかかる病気です。アメリカの楽器であってもポジションの位置は耳を基準にしましょう。

ボア・サイズ

ほとんどの人が誤解していますが、いわゆるドイツ管は細管なのです。中細?と聞かれることがありますが、まるで細いのです。僕が初めてドイツ管で本番を演奏したのはアロイス・バンブーラ先生の楽器(戦前のシエルツァー)ですが、吹き心地がゆなり太いにも関わらず実際に管を比べるとバックの16とほとんど同じでした。(16はデュアル・ボアなのですが、上下管共に16とほとんど同じでした。)ちなみにレッツェのWeite I はバックのトランペットとほとんど同じです。それにしても細いです。(多分キング3B、バック36よりも僕のWeite IIの方が細いでしょう。だれか計って!ただ、レッツェにしてもフォークトにしても基本的なボアサイズは5種類あります。そして基本的にオーダーメイドなので頼んだ人が「このサイズ!」と言ってしまえば作ってしまえる鏡前があります。歴史的な楽器の中にどうしてこんなサイズがあるんだろう?と首をかきげたくなる物がありますが、きっとオーナーが気に入ったサイズなんでしょうね。

デュアル・ボア

ドイツ管の特長の一つにデュアル・ボアがあります。上下のスライドの内径が違うのです。当然マウスピースの着く側が細くベルに繋がる側が太いのです。でも実はドイツ管だけの特長では無いのです。管をだんだんに太くしたいという発想はどこにもあるらしく、バックの16、ホルトンのフリードマン・モデル、コーンの62Hそしてヤマハのインペリアル・モデル11等々がそうです。これらはデュアル・ボア特有の音色と倍音のイントネーションを備えています。

楽器を吹く上で

1: 息の問題

ほとんどのドイツ管ユーザーは太管から持ち替えるために息が入らないと苦勞します。それは当然の事です。逆に普段細管を吹いているジャズ奏者は問題無く吹いている事を何度も見ました。そうです。ドイツ管(特にテナー)は細管なのです。ですからドイツ管は特長も欠点も細管特有の個性から来ているのです。細管は案外太管がキツイという迷信がありますが、本気で同じ音量を出そうとするとかえって細管はキツイのです。ただ、細管をシンフォニーで使い、真面目に太管と同じ音量を出そうとするチャンスが無いから気が付かないのです。どんな楽器でもそうですが、狭い部屋でプツプツと吹いたぐらいでは楽器の特性は分かりません。本番でtuttiの音の洗礼を受けて、その中でどういふ答えが出るかを見て初めてわかるものです。ドイツ管は細管といってもベルが大きいのでその分音量は出ます。ただ、ほとんどの人が息を吹きこむ抵抗の感触でダイナミクスを判断する

ために、ドイツ管でffを吹こうとすると息が余ってしまい、キツク感じるようです。息が入らない時の音は気持ち長く「バーン」と弾けるような響きにならないで「マーン」とか「ムーン」といってなんとも煮えきらない響きになります。これは「ドイツ管」というよりも「細管」に慣れていない音なのです。

2: 音程について

ドイツ管を実用で使い始める時の最大の難関は音程です。特にベルが短いために「わかつちやいるけど手が短い」になります。3、4、5ポジションは下手すると半音の半分ぐらい上ずったピッチになり、しかも本人が気が付かない事が多いのです。回りからピンシユクになるこの悪い音程の原因は、ドイツ管云々以前に、ピッチを耳で判断しないで、手の位置、しかも視覚的にポジションを判断する事から来ます。解決方法は

1: チューナーを見ながらロングトーン

2: 恐いポジションは目をつぶって伸ばしてから目を開ける。

3: ピアノ伴奏のソロをたくさんする。

まあ、どれも当たり前ですが、2:の目をつぶって伸ばすのは何度か僕も本番で使いました。ワハハ。次はまだ持っていない人、どうやって入門できるか?ドイツ管とアメリカ管とは共存できるか?に視点を移しましょう。



新入会員紹介

可児トロンボーン四重奏団

バストロンボーン岡田泰浩を中心に、黒岩亮宏、梅田龍太郎、亀谷孝太の4人によって結成されました。メンバー全員が、地元岐阜県可児市に生まれ育ち、同じ中学高校で吹奏楽をやっていました。岡田、黒岩が中学生のとき、スローカートロンボーン四重奏団に会い、トロンボーンアンサンブルに見せられ、四重奏団を作りたいという夢が生まれました。それ以来、黒岩が後輩である梅田、亀谷にトロンボーンを教え、結成の準備をしてきました。そして1997年3月に結成のはこびとなりました。アマチュアである事にこだわりを持ち、音大、芸大に入ることなく中学、高校の部活の経験のみでやっております。現在は、4人同じ吹奏楽団で活動する傍ら、バロックから現代曲、ポップス、ロックなども自分たちで一部編曲し、演奏しております。

● 4人の紹介 ●

黒岩亮宏 (くろいわあきひろ)

主に1stを担当しております。

トロンボーンにかけては超マニアで、所有するトロンボーンのCDは80枚を超え、所有している(していた)楽器はヤマハ、コーン、ホルトン、バック、グラスル、コルトワなどで、すべてをトロンボーンにかけている人です。半年前に、トロンボーンの練習ができないからといって、商社を辞め、小さな工場に転職しました。さらに、自分の能力の限界を悟り、最近ではレッスンを受けています。トロンボーン以外での趣味はこれといってなく、とにかくトロンボーンの話(国内、世界のプレイヤーの比較、コンサートに行った話、トロンボーンの構造、など)ばかりする人です。私生活は、吹奏楽団の団長であり、口は出すけど手は出さないので、団員はみんな困っています。そのさいたるが、けっこういい車(真っ赤なエアロバリバリのニューセリカ)に乗っているのに、ドライブが大嫌いで、どこかへ行くときは誰かを呼び出す、困った人です。尊敬するトロンボーン奏者はM. ベッケ氏、呉信一氏、小田桐寛之氏です。

E-mail: t-bone@pp24.so-net.ne.jp (トロンボーンの話しかしません)

梅田龍太郎 (うめだりゅうたろう)

主に2ndを担当しています。

普段は営業マンとしてバリバリ働いているためあまり練習に来る事ができません。トロンボーンについてはけっこう詳しいです。この人は趣味の人で、釣り、キャンプ、ス

キー、スノボ、何でもできるアウトドア派。最近温泉にどっぷりハマっています。彼の唯一の弱点はリズム音痴だということです。(四重奏の輪を乱しています)

E-mail: r-umeda@joy.hi-ho.ne.jp

亀谷孝太 (かめがこうた)

主に3rdを担当しています。

唯一の学生で最年少(20)です。暇があればゲームセンターでダンスゲームをし、パソコンをさわり、ネットとメールをこよなく愛する青年です。トロンボーンはというとこれがからっきしダメで、いつも先輩たちに怒られ、涙しています。

E-mail: kouta@na.ctl.ne.jp

岡田泰浩 (おかだやすひろ)

バストロ(4th)を担当。

当団のリーダーで最年長者(27)です。四重奏団結成のため、バストロに転向しました。普段は某ナゴヤドームで営業をしています。(そのため、当団はほとんどの日曜日の本番をキャンセルしています)彼の趣味は映画と雑学一般で、言いたいことをいいたい放題言う人です。4人の中で唯一のオケ経験者で、音程、リズム、曲奏等、音楽にいちばん厳しい人です。最近プロのレッスン始めました。尊敬する奏者はA. バハマンです。

E-mail: yas-oka@na.ctl.ne.jp (なかなかチェックしません)

こんな4人ですが、よろしく願います。気に入った人にメールでも送っていただけたら幸いです。

プロの方からメールをいただくと泣いて喜びます。(黒岩)



K・T・Pコンサート

去る8月12日(土)、鹿児島市民第2ホールにて、K・T・P(Kagoshima Trombone Players)によるチャリティ・ソロ・アンサンブル・トロンボーンコンサートを開催しました。



メンバーは鹿児島県出身、在住のプロ・アマの奏者で、トロンボーン吹きだけでなく、一般の広い年代層まで多くの人にトロンボーンの魅力に触れてもらいたいという趣旨で計画しました。鹿児島ではまだトロンボーンのための演奏会はなじみが浅く、当日の客入りを心配しましたが、予想を上回る約800人の入場者でした。

プログラムは、ソロからトリオ、カルテット、6重奏(+ピアノ)という様々な編成で、バロックから現代・ジャズ、アンコールにアニメ、演歌など幅広いジャンルの作品を取り入れ観客を飽きさせないプログラミングにつとめました。

その中で、今回特徴的な試みとしては、まだ日本でも耳にする機会の少ないサクソバット(バロックトロンボーン)の演奏や、また「トロンボーンの世界と種類」と題して、プログラムに解説文などを載せ、さらにいろいろなトロンボーンを紹介しました。初めて目、耳にする多くの種類のトロンボーンに、鹿児島の観客には大変興味をもって貰えたのではないかと思います。

演奏が終わりに近づくにつれ、出演者と観客の雰囲気は1つになり、4曲のアンコールを演奏し大盛況のうちにコンサートを終えることができました。

なお、今回の演奏会の収益金は、日本ユニセフ協会及び第1回鹿児島車椅子駅伝競走大会支援として寄付しました。

そして、このK・T・Pは今後、鹿児島県出身者を中心に、選曲や編成を工夫しながら、トロンボーン音楽の魅力を知ってもらい演奏団体として活動していければと考えています。

●演奏者●

原 尚二 三窪 毅 岸良開城 川口智洋 上赤竜次
小坂達也 中山詩子(ピアノ)

▼プログラム紹介▼

フーガ・ト短調(J.S. バッハ) / オラトリオ「天地創造」より(F.J. ハイドン) / カヴァティーナ(C. サン・サーンス) 演奏: 小坂達也 / アルトトロンボーンのための協奏曲より第1楽章(J.G. アルブレヒツベルガー) 演奏: 三窪 毅 / メドレー(J. ガーシュイン) 演奏: 岸良開城・中山詩子(ピアノ) / イージー・ウィナーズ(S. ジョブリン) / 亡き王女のためのパヴァーヌ(M. ラベル) / トロンボーン四重奏のための組曲より(F. ベーテルス) / ジャズィネーションより(D. アルミテージ) / スターダスト(H. コーマイケル) / チャルダッシュ(V. モンティ)



中山詩子 小坂達也

アンソニー・ブローグ
&
ブラニミール・スローカー
with
ザ・ブラス

日時：2000年11月21日（木）19：00 開演

会場：トッパンホール

料金：一般4000円 / 学生3500円

※協会会員の皆様には500円引きとさせていただきます。

協賛：株式会社ダク、野中貿易株式会社

後援：日本トランペット教会、日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・チューバ協会、東京アメリカン・センター、スイス大使館、ドイツ連邦共和国大使館（予定）

主催：プロ アルテ ムジケ

演奏曲目：J. Fr. ミシェル：目覚め / F. マルタン：バラード / A. ドヴォルザーク：詩的な音調
G. エネスコ：伝説 / F. コンポ：三重奏曲 / G. カプリエリ：2つのカンツォン / A. ブローグ：金管八重奏曲 / G. ビゼー：カルメン組曲より / F. レハール：メリー・ウィドウ・ワルツ / P. マスカーニ：カバレリア・ルスティカーナより間奏曲 / T. スザート：サンチェス

2000年11月公演日程

21日（火）トッパンホール 19：00 全席自由：

一般4000円 / 学生3500円

共演：ザ・ブラス

問い合わせ：プロアルテムジケ 03-3943-6677

23日（木）宇治市文化会館 時間未定

問い合わせ：宇治市文化会館 0774-20-2111

25日（土）米子公会堂 14：00

問い合わせ：米子西高等学校（小谷）0859-22-7421

26日（日）鳥取市民会館 14：00

問い合わせ：八頭高等学校（竹田篤司）0858-72-0022

トロンボーン協会 会員係りからお願い

インターネットの普及により、メールアドレスを持つ方が増えてまいりました。当協会でも会員名簿を整備し、正式にメールアドレスの項目を設ける事となりました。つきましては新しい協会名簿にてお持ちのメールアドレスの公開を希望される方は、協会宛メールにて「掲載希望」の旨お知らせくださいますようお願い申し上げます。新しい協会名簿はオンラインまたは印刷物（実費）にて配布の予定です。

宛先：jat@viola.ocn.ne.jp

件名：「アドレス掲載希望」などとしてください

本文：公開希望のメールアドレス及びお名前を忘れずご記入ください

以上、よろしくご協力お願い申し上げます。

新しいホームページは
もうご覧になりましたか？
皆様のおいでをお待ちしております。
日本トロンボーン協会ホームページ
<http://www3.ocn.ne.jp/~jat/>

会報編集部より

この会報は日本トロンボーン協会の主旨に添い、内外のトロンボーン奏者、トロンボーン愛好家、音楽ファンを応援すべく発行されています。

会員の皆様の中で会報制作に参加してみたいと思われる方は村上まで御一報下さい。また、情報・質問等もお寄せ下さい。お待ちしております。

会報編集担当

村上準一郎 TEL&FAX 03-3484-8577

E-Mail : jat@viola.ocn.ne.jp

INTERNATIONAL BRASS CONGRESS

インターナショナル ブラスコンGRES

JAPAN 2001 (仮称)

— 開催のお知らせ —

金管四協会（日本トランペット協会、日本トランペット協会、日本トロンボーン協会 日本ユーフォニアム・チューバ協会）では、下記のような合同フェスティバルを企画しています。現在イベントの詳しい内容を検討している段階です。日本トロンボーン協会の会員の皆様も、こんな企画があったら、というアイデアがありましたら、ぜひご意見をお寄せください。日本トロンボーン協会が窓口となって、企画に反映させていきたいと思ひます。

名称：インターナショナル・ブラスコンGRES

JAPAN 2001 (仮称)

日時：2001年7月20日（金・祝）～22日（日）

場所：洗足学園大学（JR南武線「武蔵溝ノ口駅」／
東急田園都市線「溝の口」駅下車 徒歩8分）

主催：日本トランペット協会、日本トランペット協会、
日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・チューバ協会

催し物企画（予定）：

- ・ フェスティバル・コンサート（古楽器、稀少楽器、クラシック、ジャズ、金管バンド、他）
- ・ ブラスアンサンブル・コンペティション（金管5重奏の部、その他の部）
- ・ プロ奏者によるオーケストラスタディ実演
- ・ 音大生によるアンサンブル
- ・ 講演、討論、展示
- ・ 日本アマチュア・ブラスアンサンブル組織（BABEO）コンサート
- ・ 楽器・楽譜 展示、試奏、リペア 他多数

マネージメント：プロアルテ・ムジケ